

# 総 合 整 備 計 画 書

福島県田村市都路町 古道辺地  
辺地の人口 702 人 面積 41.1 k m<sup>2</sup>

## 1 辺地の概況

### (1) 辺地を構成する町又は字の名称

古道字阿園平、石黒、稲葉下、上野前、後ノ前、大平、荻田、尾ノ川、春日前、釜作、上板橋、上ノ前、上屋敷、蒲生河原、吉祥院前、京久保、九郎鹿、傾城川、傾城谷、小滝沢、権七田、斎ノ脇、申西、下板橋、下田、下ノ久保、下ノ前、下野前、蛇口前、杉内、芹ヶ沢、反田、遠上前、戸草、鳥伏、仲ノ前、中屋敷、日東内、橋向、八小屋、場々、東久保、東谷地、不動前、細田沢、前田、前原沢、三沢前、道下、南作、休場、柳沢、山口、山崎、呼石

### (2) 地域の中心の位置

田村市都路町古道字芹ヶ沢 35-3

### (3) 辺地度点数

108 点

## 2 公共的施設の整備を必要とする事情

古道辺地は、地域の中心から田村市役所まで 21.8 km、地域内の生徒が通う都路中学校へは 2.6 km、船引高等学校へは 21.6 km の距離にあり、公共機関・教育機関ともに遠方に位置している。これら公共機関等への交通手段として福島交通(株)が運行する路線バスもあるが、運行回数が少なく、自家用車や乗合タクシーの利活用が大半を占めるようになっている。

しかし、当該地域の改良率・舗装率は他地域と比べ未だに低く、また、当該地域の一部集落を通過する市道等では、災害や救急など緊急車両等の通行に支障をきたすことが考えられるなど、地域住民にとっては不安や不便を余儀なくされており、道路の改良・整備が急務となっている。

このようなことから、地域住民の日常生活における利便性向上と安心安全に通行できる道路の確保が必要不可欠であり、計画的に整備を図る必要がある。

## 3 公共的施設の整備計画

令和 8 年度から令和 12 年度まで 5 カ年（別紙計画書のとおり）

(別紙)

公共施設の整備計画

(単位：千円)

施設名	事業主体名	概算事業費 (見込み)	財源内訳		一般財源のうち ち辺地対策事業債の予定額
			特定財源	一般財源	
市道大久保石橋線 道路整備事業 【令和8年度～12年度】	田村市	70,000		70,000	70,000
合計		70,000	0	70,000	70,000